令和8年9月25日

加古川市　福祉部　高齢者支援課

加古川市
介護予防・日常生活支援総合事業の
『リエイブルメント型短期集中予防サービス』
実施事業所募集説明会

～「できること」を取り戻し、自分らしい生活へ～

本日の説明会の目的

1 リエイブルメント型短期集中予防サービスへの理解

2 「できることを増やす支援」を共に実践する事業所の募集

3 総合事業再編に伴う周知・理解

本日の説明内容

1 サービス・活動C導入の背景と目指す方向性

2 リエイブルメントの考え方と実践

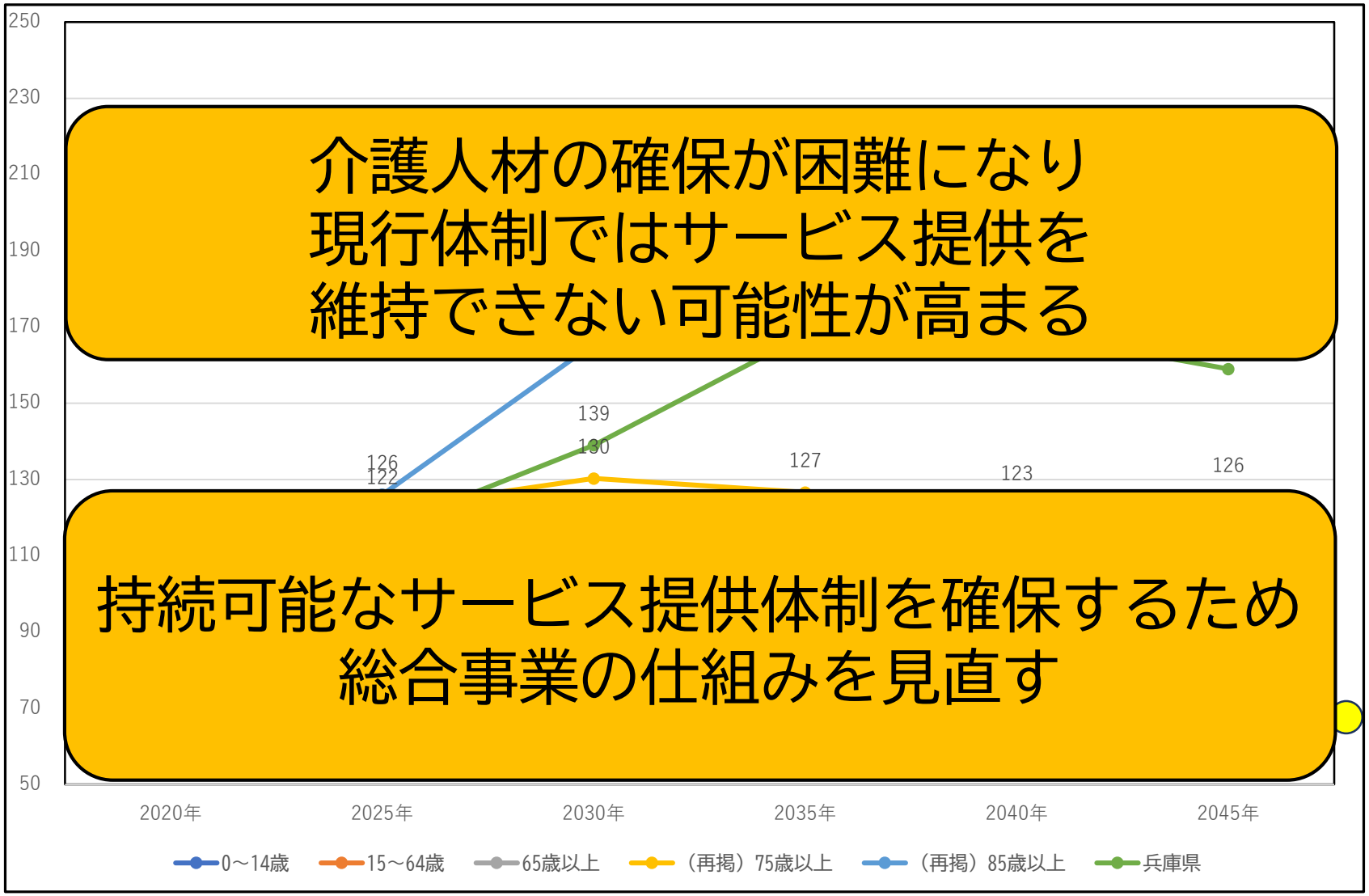
3 サービス・活動Cの実施内容・基準等について

総合事業全体の見直し内容について

1 サービス・活動C導入の背景と目指す方向性

加古川市の年代別人口増加率

国立社会保障・人口問題研究所
日本の地域別将来推計人口（令和５（2023）年推計）



介護人材の確保が困難になり
現行体制ではサービス提供を
維持できない可能性が高まる

持続可能なサービス提供体制を確保するため
総合事業の仕組みを見直す

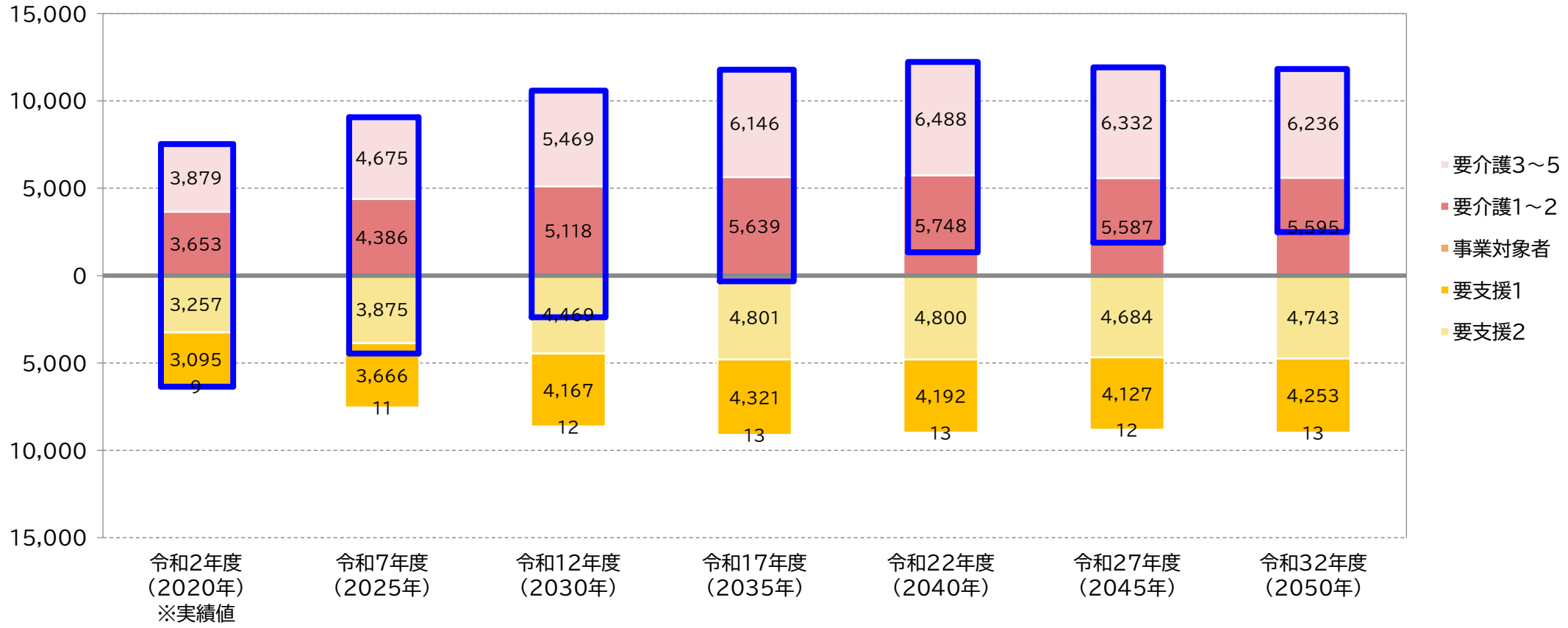
支えを必要とする
人口が2035年で
既に2倍に！

支える人が
2割減少…

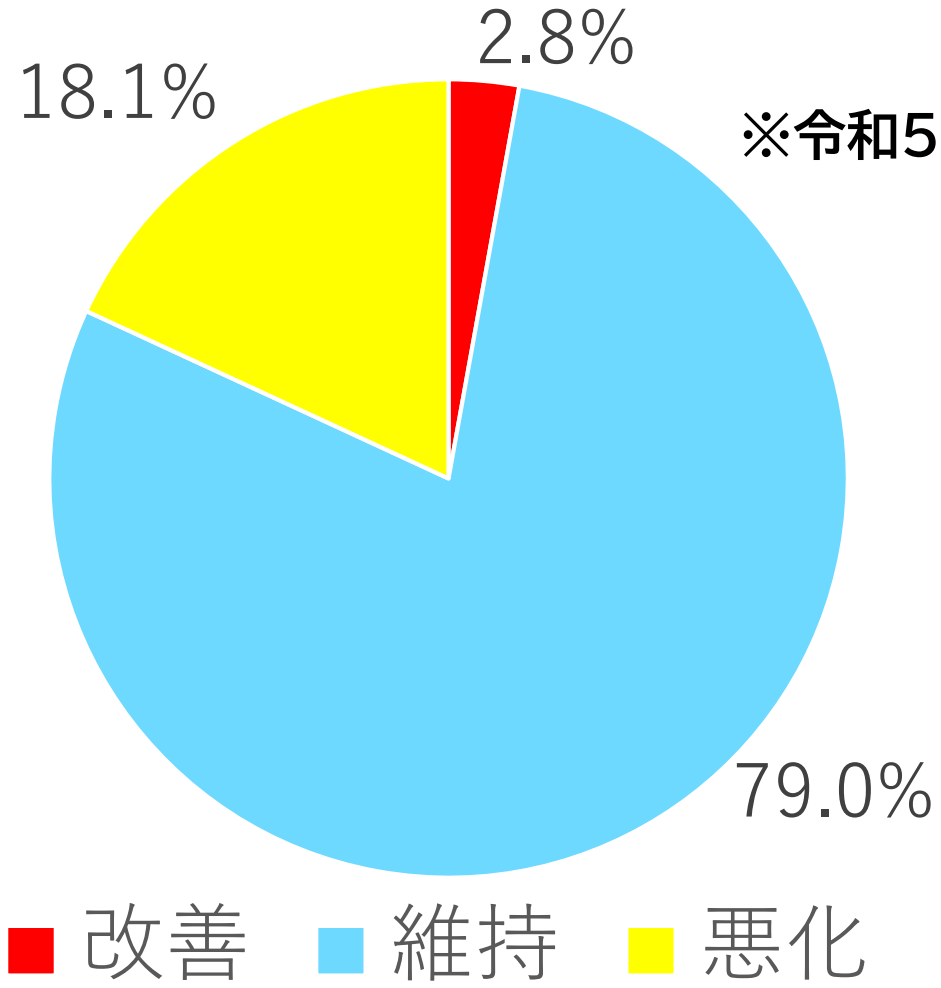
2050年までの需要に対する供給のイメージ

②2050年までの需要に対する供給のイメージ（※生産年齢人口の減少を考慮）

（人）　※青枠：令和2年度の要支援・要介護者数（＝サービス提供量）に各年度の生産年齢人口の令和2年度に対する比率を乗じた大きさの枠を プロットしている



要支援１、２（65歳以上のみ）の1年後の介護度変化



※令和5年度から令和6年度の変化

加古川市の考える自立支援とは

「やりたいこと」「送りたい生活」に向けて、できないことや、
できにくいことは必要なサービスや周囲の助けを借りながら、
自分らしく生活するということです。

①重度化防止　＋　**元の生活に戻る**

②本人の強み

③自己決定



「リエイブルメントの考え方」

加齢や病気、けがなどで「このままでは介護が必要になるかも」と言われたら、
あなたならどうしますか？

例えば…　転倒して 骨折してしまった…！

CHOICE

もう転倒したくないな
これからは歩くのを控えよう

外出しなくなって、
人とも会う機会が減ってしまったな

だんだん体が弱ってきて、
できないことが増えてきた気がする



介護サービスや
周囲の助けがないと
生活が困難に

CHOICE

また趣味の
グラウンドゴルフに行きたい！

活動的な生活に向けた
指導を受けてみよう

グラウンドゴルフが再びできるようになり、
気持ちも前向きに



「こうなりたい」
「好きなことを続けたい」
という思いが元気につながります

短期集中予防サービスを利用して
元の生活を取り戻してみませんか！

サービス・活動C（リエイブルメントプログラム）の導入

○　利用者負担なし

○　新規相談者で要支援認定者や事業対象者となった方
原則全員が対象

○　3か月間の短期集中支援、リハビリ専門職がアセスメント

○　高齢者が元の生活を取り戻すことを目的とした自立支援型プログラムで介護保険サービスを必要としない状態を目指すもの